

# 競技注意事項

## < 1. 競技運営 >

### 1 競技規則について

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項によって実施する。

### 2 学校受付について

各学校の引率教員は、競技の招集開始時刻までに受付を済ませる。教員の受付がない場合、競技者は競技に出場できない。

### 3 ウォーミングアップについて

(1) 競技場内でのウォーミングアップは次の点に注意し、事故防止等に努めること。

ア トラックを逆走しない。

イ トラック（レーン）から離脱する際は、周りの状況を見て安全を確認してから離脱する。

(2) 朝のウォーミングアップは、大会準備に支障のない範囲において競技開始15分前まで競技場のトラックを使用できる。

○レーンの使用区分

・ 1, 2レーン：中長距離      ・ 3～6レーン：短距離      ・ 7, 8レーン：ハードル

※第4コーナー付近でのウォーミングアップは、コーン等による区分けを確認して使用する。

※ゆっくりしたジョギングはトラック外を使用する。

※使用した器具は必ず元の位置へ返却する。

(3) ウォーミングアップ場として野球場が利用できる。利用可能部分は現地で確認すること。また、競技場内でのウォーミングアップは、競技および競技運営に支障のないトラック部分で行うことができる。

(4) 400mHのウォーミングアップについては、競技および競技運営に支障のない範囲で、競技場内で次のようにハードル練習を行うことができる。

ア 100mの競技中に、スタートから3台目程度まで練習ができる。

イ ハードルの高さは、5, 7レーンを女子用、6, 8レーンを男子用とする。

ウ スターティングブロックの使用は7, 8レーンのみとする。

※練習中は100mのフィニッシュ後の競技者と接触しないように十分注意すること。

### 4 招集について

(1) 招集所は正面スタンド1階出入口横（ウッドデッキ）に設ける。

(2) 招集開始時刻・完了時刻は次のとおりとする。

		招集開始	招集完了
トラック競技		競技開始40分前	競技開始20分前
フィールド競技	棒高跳以外	競技開始50分前	競技開始30分前
	棒高跳	競技開始90分前	競技開始60分前

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、該当種目については棄権とみなし処理する。

(4) 複数種目に出場する競技者で、出場種目の競技時間と別の種目の招集時間が近い場合は、招集所で申し出ることにより複数種目の招集を済ませることができる。

(5) 競技を棄権する場合は、招集完了時刻までに招集所に申し出る。

## 5 リレー競技について

- (1) オーダー用紙は、プログラム記載の時刻までに招集所へ提出する。
- (2) リレーメンバーの交代は、総体予選種目にエントリーをしている競技者からとする。

## 6 アスリートビブス・腰ナンバー標識について

- (1) アスリートビブスは、ユニフォームの胸、背に確実につける。跳躍競技は、胸または背の一方のみでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を招集時に貸与する。右腰のやや後部につけ、明確に数字が見えるようにする。
- (3) 800m競走、3000m競走、5000m競走、3000m障害においては腰ナンバー標識を両腰につける。
- (4) 4×400mリレーの第2走者以降は、腰ナンバー標識を両腰につける。
- (5) 5000m競歩の競技者は、腰ナンバー標識と同じ番号のアスリートビブスをつける。
- (6) 腰ナンバー標識は、競技終了後直ちに係員に返却する。

## 7 各種目の得点および表彰について

- (1) 各種目の得点は、1位6点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点とする。
- (2) 学校対抗は男女それぞれ3位までに賞状と楯を、6位までに賞状を授与する。
- (3) トラックの部とフィールドの部は、男女それぞれ3位までに賞状を授与する。
- (4) 各種目6位までに賞状を授与する。また、県大会出場資格者もできる限り賞状を授与する。

## 8 県大会出場者（チーム）について

- (1) 県大会出場はシードを除く6位まで（走高跳と棒高跳は6位6名）とする。
- (2) 県大会出場の資格を得た学校は、大会終了までに申込一覧表と参加料（1名1,000円）を本部へ提出する。シード選手（チーム）も大会終了までに申込を完了する。
- (3) 県大会出場を辞退する場合は、引率教員が大会期間中に本部へ申し出る。
- (4) 次の種目の6位入賞者で、決勝記録が参加標準記録に到達していない場合は、県大会に出場できない。
  - 5000m競歩 …………… 男子：28分以内、女子：33分以内
  - ハンマー投 …………… 男子：35m以上、女子：25m以上
- (5) ハンマー投については「2. 競技に関する内容」の11によって参加標準記録に到達すると県大会へ出場できる。

## < 2. 競技に関する内容 >

### 1 競技の番組編成について

- (1) トラック競技の走路順とフィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号順とする。
- (2) 競技者の変更はいっさい認めない。
- (3) トラック競技の準決勝および決勝の進出者について
  - ア 進出者の発表は、掲示およびアナウンスで行う。
  - イ 進出者のプラスアルファについては、記録のよい者から決定する。
  - ウ 進出者の決定において同記録であった場合は、1000分の1秒まで考慮して決定する。それでも決定できない場合は、抽選を行い決定する。
  - エ 800m以上の種目において、プラスアルファの最終枠に同記録（着差なし）の競技者が複数いる場合、該当の競技者は次のラウンドに進出できる。
  - オ 準決勝および決勝の番組編成は掲示板上に掲示する。

## 2 競技用靴について

- (1) 競技に使用できる競技用靴の靴底の厚さは、次の表に示すとおりとする。規格に合うもので競技を行うこと。ただし、フィールド種目については本規定を適用せずを実施する。

表1 競技用靴の規定

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
トラック種目 (800m未満の種目、ハードル種目を含む)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (800m以上の種目、障害物競走を含む)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。
道路競技 (競走、競歩)	40mm	
フィールド種目 (三段跳を除く)	20mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く、長さを競う跳躍種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。

- (2) 審判長の判断により、競技終了後に靴底の厚さを計測することがある。計測の結果、違反が認められた場合はその競技者を失格とする。
- (3) スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投は12mm以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。

## 3 競技器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳の「ポール」および投てき器具は検査を受けて使用することができる。また、投てき器具については主催者が一括で借り上げ、参加競技者間で共有できるものとする。
- (3) 競技器具の検査は次のとおりとする。

- 検査時間 招集開始1時間前から招集開始時刻まで
- 検査場所 ポール・・・競技場所  
投てき器具・・・招集所付近

- 4 400mまでのレーンを使用する競技では、他の競技者の安全確保のために、フィニッシュ後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）で減速し止まる。

## 5 800m競走を9名以上で行う場合について

- (1) 外側のレーンから2名ずつ配置する（外側のレーンは曲走路が緩く比較的安いため）。
- (2) 原則として1～6レーンは1名ずつ配置する。また、各組のランキング上位者から1～6レーンのいずれかになるよう番組編成を行う。
- (3) 欠場者がいる場合は、レーンナンバーの若い順に内側から配置する。招集完了後にスタートするレーンを決定する。

## 6 長距離種目の実施について

- (1) 人数によってはグループスタートを実施する。実施時のグループは招集完了後に決定する。
- (2) 天候等により給水を実施することがある。

### 7 競技打ち切り時間について

競技運営上、次の種目において競技打ち切り時間を設定する。ただし、最後の周回に入った競技者は打ち切りをせず競技を継続する。

○ 男子5000m：20分      ○ 女子3000m：15分      ○ 5000m競歩：40分

### 8 リレー競技のマークについて

(1) 競技場のものを使用する（各チームで準備したマークは使用禁止）。

(2) 使用したマークは、バトンを渡し終えた競技者が競技役員に返却する。

9 走高跳および棒高跳の競技開始のバーの高さ、バーの上げ方は審判員の指示により設定する。

10 三段跳の踏切板は、砂場から男子11m、女子9mの地点に設置する。

11 ハンマー投の6位入賞者で、決勝記録が県大会の参加標準記録に到達していないときは、県大会予選としてさらに3投の試技を行うことができる。

12 オープン種目は記録会として実施し、走高跳と棒高跳を除くフィールド種目の試技は3回とする。

## < 3. その他 >

1 競技場の開門時間は7時30分を予定している。会場準備を依頼した学校以外は開門前に競技場へ入らないよう厳守する。

2 各学校の待機場所は、主催者で指定した場所とする。また、正面スタンドの座席部分でのテントの設営は禁止する。

3 競技中は正面本部前およびフィニッシュライン付近の通行を禁止する。移動の際はスタンドを通ること。

4 応援について

(1) 競技の進行に支障をきたすような集団での応援は禁止する。

(2) フィールド競技進行中は、メガホン等を使用した集団での応援を禁止する。

(3) 観覧席エリアでは座ったまま観戦し、集団での応援は行わない。

5 各日の競技場閉門は、全競技終了から30分後を目安とする。

6 競技会において怪我等が発生した場合、主催者で応急処置を行うが以後の責任は負わない。

7 貴重品や衣服等の管理は、各学校または個人で責任をもって行う。

8 各学校で出したごみは、責任をもって持ち帰る。競技場周辺のごみ集積場等には絶対に置いていかない。